

VOL.2

MONTHLY

紙

Useful
Printing
Information

印刷に関する用語、こぼれ話
業界のトレンドなどの情報を
毎月ご紹介していきます。



次号では、
紙の“目”と“こし”についてを
予定しています。

SEZAX

本社・工場	〒146-0091 大田区鶴の木2-9-7	TEL 03(3758)2511(代)	FAX 03(3758)2754
		営業専用	FAX 03(3758)2544
渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル	TEL 03(3400)9211(代)	FAX 03(3409)7315
八丁堀コア	〒104-0032 中央区八丁堀2-19-8 八丁堀ビル6F	TEL 03(5566)1061(代)	FAX 03(5540)8304
取手コア	〒302-0004 取手市取手3-1-1 上田ビル3F	TEL 0297(73)7561	FAX 0297(73)7687
マニュアル企画部	〒146-0092 大田区下丸子3-8-6 ブルーハイツ	TEL 03(5482)2751	FAX 03(5482)2777
下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03(3758)2516(代)	FAX 03(3758)8850

株式会社セザックスクリエイティヴ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03(3409)4970(代) FAX 03(3409)2732

株式会社セザックスインターナショナル

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03(3409)0527 FAX 03(3409)6610



この小冊子には環境にやさしい大豆インクを使用しています。

この小冊子は再生紙を使用しています。



破り捨てたい、
再生紙の誤解。



破り捨てたい、再生紙の誤解。

割り箸の例にみられるように、資源の活用について世界からやり玉に挙げられることの多い日本。しかし、こと再生紙の利用においては先進国という事実をご存知でしょうか。それだけに限らず、意外に知られていない再生紙の話題について、今回はお届けします。

そもそも再生紙の歴史は古く、日本でも9世紀後半には古紙の利用がはじまっていた。ただし、「再生紙」という言葉は、世界的に環境意識が高まってきた近年、マスコミによって使われるようになったもので、そこに明確な定義はありません。一度使用された古紙がわずかでも含まれていれば、再生紙と呼ばれるのが実情のようです。

現在、日本における古紙利用率は56.1%。古紙回収率の約55.9%とともに、世界トップレベルの数値です。それと同時に、日本の古紙再生技術も世界最高水準といわれています。では、古紙はどのようにして再生されているのでしょうか。これは紙の種類などにもよりますが、(1)古紙をほぐして繊維に戻す、(2)異物やゴミを取り除く、(3)インキを除去する、(4)漂白する、という工程が一般的です。

このようなプロセスで作られる再生紙。その品質を疑問視する声もまだまだ多いようですが、実際は、白色度もインキののりもバージンパルプの紙と遜色ありません。古紙100%の「上質紙」も登場しているほど、品

質は高まっているのです。それに加えて、再生紙は繊維が複雑であるため、いわゆる裏ヌケに強く、比較的薄い紙の両面に印刷しても裏側が透けにくいという特長があります。

また価格についても、再生紙は高いとイメージされがちですが、流通量が増加してきた現在、バージンパルプとの格差はなくなっています。

このように、何かと誤解も多い再生紙。その利用率をさらに高めていくためには、利用分野の開拓や再生技術のさらなる向上をはかり、家庭でもオフィスでも古紙のリサイクルを徹底していくことが必要です。そしてセザックスは、印刷物に根ざした企業として、再生紙についての正しい情報を発信し、単にイメージ戦略としてではなく、一人ひとりの強い関心によって支えられる古紙リサイクルの実現に、貢献していきたいと考えています。

数値は1999年。紙パルプ統計年報による。

